

暮らしに役立つ情報満載!



住まいるニュース

2024

2

vol.159

今月の特集

知っておきたい!耐震基準のお話

地震が多い日本では、建物の耐震性能は暮らしの安全性に大きく関わります。そこで今回は、地震の揺れに対して、建物が耐えられる性能を定義した耐震基準について、新旧の違いや耐震性が高い家を作るポイントについてご紹介します。

新耐震基準と旧耐震基準の違いとは?

地震の揺れに対して、建物が倒壊・崩壊せずに耐えられる性能を定義した耐震基準。現在の耐震基準は、1981年に施行された「新耐震基準」と呼ばれるもので、震度6強～7程度の大地震でも建物が倒壊しないように定められた基準としており、壁にヒビが入るなどの軽微な損害はあり得るものの、大規模な被害は起こりません。一方、1950年から1981年まで適用されていた「旧耐震基準」では、震度5強程度の中規模の揺れに対して、建物が大きな被害を受けないという基準で、破損しても補修可能な範囲とされていました。しかし、この基準では、建物の変形量や構造部材の品質などは考慮されておらず、現在、起こり得る大地震に対応できない場合が考えられます。

住宅の工法や構造が耐震性に大きな影響力を持つ

地震に強い家を作るには、いくつかのポイントをチェックする必要がありますが、その一つは、耐震等級の表示です。ハウスメーカーや工務店では、建物が地震に対してどのくらいの強度を持っているのかを示

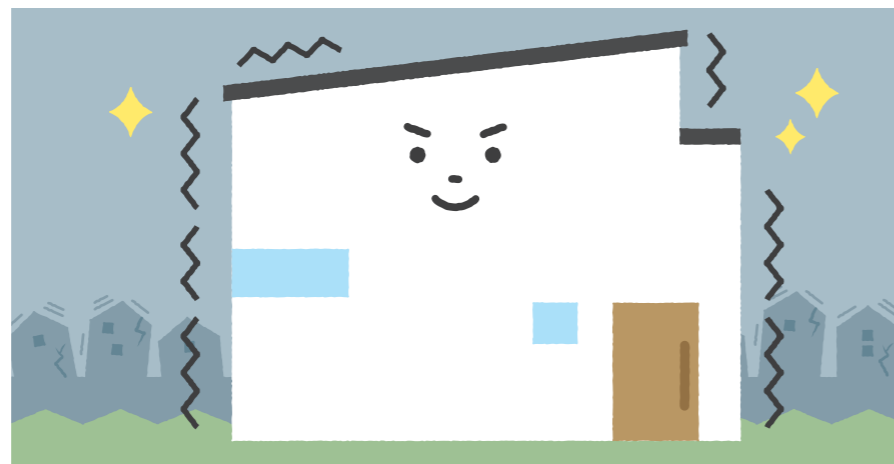
す「耐震等級」を公表しています。耐震等級は全部で3段階あり、数値が大きいほど耐震性が高いことを表しています。「耐震等級1」は、震度6～7に相当する「極めて稀に発生する地震に対して倒壊、崩壊しない程度」と住宅性能表示制度で定められており、新耐震基準に則って建てられた住宅であれば、この「耐震等級1」の性能があります。「耐震等級2」は、極めて稀に発生する地震の“1.25倍”、「耐震等級3」では、極めて稀に発生する地震の“1.5倍”に対応する程度と定められています。

耐震性をはかる上では、建物を支える「基礎」は重要な位置を占めます。一般的に基礎は「ベタ基礎」と「布基礎」の2種類があり、どちらもメリットはありますが、耐震性という

意味では「ベタ基礎」が優れていると言われています。また、住宅の工法や構造も耐震性に大きな影響力を持っています。

「FPの家」が採用するFP軸組工法は、硬質ウレタンと一体成形した強度の高い「FPウレタン断熱パネル」を建物の躯体に隙間なく組み込み、壁構造としてさらなる強度を引き出す工法。軸とパネルを一体化した箱構造が、木造住宅特有の粘り強さと強い剛性を備えています。外力をパネルの面全体で受け止め、力を四方に分散させるため、地震に対する抜群の強度を誇ります。

地震はいつ起こるかわかりません。だからこそ、「FPの家」で安心、快適な家をつくりませんか。



住まいの知恵袋

耐震構造・制振構造・免震構造



地震による建物の倒壊や損傷を防ぐための耐震技術。中でも、耐震構造・制振構造・免震構造の3つが代表格です。耐震構造とは、柱や梁を太くしたり、壁を補強したり、筋交いなどで建物自体に強度や剛性を高める構造で、日本の住宅のほとんどがこの構造を採用しています。制振構造は、建物の壁や柱などにバネやゴム、オイルなどを用いた制震ダンパーと呼ばれる制振装置で地震の揺れを吸収するしくみで、ビルやマンションなど比較的大きな構造物に採用されることが多いです。免震構造は、建物と地盤の間にゴムなどでできた免震装置で地震の揺れを遮断するしくみで、こちらもビルやマンションなどの大きな建造物で採用されることが多い構造となります。

今回はリペアプレートを使用した壁に空いた穴の補修方法をご紹介します。まずは、穴の空いた部分の中心にリペアプレートを当てて、プレートより2～3cm大きめにカッターで壁紙を切って剥がします。穴を覆うようにプレートを貼ったら、下地との段差を埋めるようにパテを塗り、ヘラで均一に伸ばします。パテを乾燥させたら、もう一度、その上からパテを塗り、同じようにヘラで均一に伸ばします。パテが乾いたら、紙やすりで凹凸を削り、その上から元の壁紙と同じ種類の壁紙を貼ります。このとき、切り出した壁紙に2～3cm重なるサイズに切った壁紙を貼ります。重なった部分をカッターで切り、新しい壁紙と下の壁紙の切りしろ部分を取り除き、ローラーで圧着したら完成です。

してきた!! 簡単DIY

壁に空いた穴の修復DIY



今回はリペアプレートを使用した壁に空いた穴の補修方法をご紹介します。まずは、穴の空いた部分の中心にリペアプレートを当てて、プレートより2～3cm大きめにカッターで壁紙を切って剥がします。穴を覆うようにプレートを貼ったら、下地との段差を埋めるようにパテを塗り、ヘラで均一に伸ばします。パテを乾燥させたら、もう一度、その上からパテを塗り、同じようにヘラで均一に伸ばします。パテが乾いたら、紙やすりで凹凸を削り、その上から元の壁紙と同じ種類の壁紙を貼ります。このとき、切り出した壁紙に2～3cm重なるサイズに切った壁紙を貼ります。重なった部分をカッターで切り、新しい壁紙と下の壁紙の切りしろ部分を取り除き、ローラーで圧着したら完成です。

お金の豆知識

新NISA

2024年1月から始まった個人型の確定拠出年金制度の新NISA。つみたて投資枠が年間120万円、成長投資枠が年間240万円、合計360万円へと大幅に拡大されました。また、非課税保有期間が無制限となり、さらに、一人あたり合計1,800万円の生涯非課税保有限度額が新設。そのうち1,200万円までが成長投資枠として利用可能となりました。

新NISA

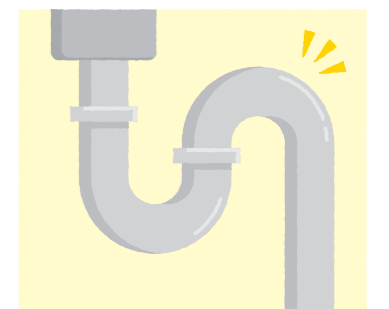


おしえて!!

Dr.住まいる

排水口の臭い対策

排水口は食べ物のカスなどが溜まりやすく、それらが腐敗して臭いの原因になります。まずは、定期的なお掃除が基本ですが、普段のお手入れでも解消しない臭いには、市販のパイプクリーナーを使うか、重曹と酢を混ぜて泡立てて流す、熱湯を流すかのいずれかの対策がおすすめ。カビや細菌には消毒も効果的です。



暮らしの1ポイント

牛乳パックの再利用アイデア



丈夫で耐水性が高い牛乳の紙パックは、アイデア次第でさまざまな家事グッズに再利用できます。例えば、野菜の大きさに合わせて牛乳パックをカットすれば、冷蔵庫の野菜室の間仕切りとして活用できます。また、肉や魚を切るときに、また板がわりにすれば、まな板を洗う手間も省けて時短になります。